

2 学年だより

夢の宅配便

2 年学年主任

水野 真代治

人への配慮

日々の生活をしている中で、人への配慮をする場面は無数にあると思います。しかし、相手の気持ちに気づかずに配慮しないで行動してしまうことも多いです。配慮がたくさんできる人は心の優しい人だと思います。

運動会の後で、体調を崩してしまった人もいてどのクラスも欠席者が増えています。欠席者がいる班では人数が少なく清掃の時間も大変です。欠席者がいて、人数不足なのに清掃をしっかりと取り組まない人もいます。掃除を自分がやらなければ、だれかがその分をやってくれています。友達に負担をかけてしまう事になるかは、少し立ち止まって考えればわかると思います。掃除の時間をしっかりと取り組んで周りの人への配慮を欠くことがないようにして欲しいと思います。

掃除の分担を、じゃんけんで決めている班がありました。箒とぞうきんがけと黒板と分担を班で決めようとしていました。じゃんけんで当番を決めるのは偶然の結果に任せることを意味します。じゃんけんしている班員をよく見ると、一人の生徒が足を捻挫して松葉杖をついていました。「みんな、じゃんけんで分担を決めていいの？ケガをしている友達がいるよ。その友達がぞうきんになったらかわいそうじゃないかな。じゃんけんで決めていいの？」と投げかけると、「〇〇さんは、黒板を掃除して、ぞうきんは私たちがやるから！」とケガをしている生徒のことを考えてみんなで配慮しました。こういう気持ちが大事ななと思いました。

掃除の分担で、みんながやりたくない分担場所（流し場）がありました。誰がやるのと分担が進まなくなっているときに、「僕が、やるよ！」と快く自ら引き受けて流し場に向かっていきました。なにげない、その生徒の心の動きが優しいなと思いました。